

装置
勝野英雄

照明
前田照夫

衣裳
宮本宣子

効果
岩田直行

舞台監督
中島裕一郎

出演

河野しずか

船坂博子

望月ゆかり

いまむら小穂

森田咲子

野田香保里

井上晶

佐々木梅治

神敏将

保坂剛大

橋本潤

滑川龍太

一之瀬朝登

西野裕貴

日景真

大崎謙介

やさしい猫

原作 中島京子 著「やさしい猫」(中央公論新社刊) 脚本 小池倫代 演出 丹野郁弓



“家族みんなで暮らしたい、ただそれだけ”
ささやかな幸せが壊されていく危機を
ともに乗り越えていく家族のものがたり。

やさしい猫

シングルマザーの保育士ミュキさんが好きになった人はスリランカ人青年の自動車整備士クマラでした。愛称クマさんと、ずっと一緒に暮らしたい。ところがある日、在留資格手続きにおける警察と出入国在留管理局の理不尽な対応によりクマさんはオーバーステイで収監されてしまうのです。守られるべき人権はどこに。奔走するミュキさんに娘のマヤとおばあちゃんも加わり、弁護士の恵先生の手も借りて、当たり前前の幸せを求める家族のたたかいは始まるのでした……。

「小さいうち」「FUTON」などの人気作で知られる中島京子さんの小説「やさしい猫」(21年)を初の舞台化。震災ボランティアで惹かれあい、恋におちた相手が“外国人”だったというだけでささやかな日常が壊されて……。日本の入管行政に翻弄される家族を描いたこの問題作は各メディアで話題となり吉川英治文学賞、芸術選奨文部科学大臣賞、貧困ジャーナリズム特別賞を受賞。テレビドラマ化され反響を呼びました。民藝では『海霧』『シズコさん』などで手腕をふるう小池倫代さん脚本により、感動的な愛の物語をつむぎます。



【ミュキ】
森田咲子



【クマラ】
橋本 潤



【マヤ】
井上 晶



【マツコ】
船坂博子



河野しずか



望月ゆかり



いまむら小穂



野田香保里



佐々木梅治



神 敏将



保坂剛大



滑川龍太



一之瀬朝登



西野裕貴



日景 眞



大崎謙介

九演連の皆さまへ

鹿児島市民劇場で演劇と出逢った私にとつて、『やさしい猫』で九演連を巡演できることは本当に光栄です。高校生のころ、例会のたびに感じた幕開きの高揚感。舞台から客席に広がる光と熱気、待ち遠しかった日の記憶がいまも忘れられません。私が味わった感動を今度は俳優として皆さまにお届けしたい。その重圧に押しつぶされそうな日々ですが、ふるさと・九州は「大丈夫だよ」ときつと私の小さな背中をやさしく包んでくれると信じています。

私の演じる「みゆき」は、シングルマザーの保育士で、偶然出会ったスリランカ人の青年と恋に落ちます。でもこの国の状況は二人の愛をどうしても許してくれません。もしかするとあなたのお隣にいるかもしれない「ある家族のものがたり」を、私たちはまっすぐに丁寧に紡いでまいります。皆さまと笑顔でお目にかかれる日を心から楽しみにしています。

森田咲子